

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名	担当教員	曜日	授業時間	定員
環境経済学	有賀 健高	火	19:40～21:10	5人

※後期（10月～1月）の授業期間で、授業は15回の予定です。

※授業期間14週のうち、対面授業のほかにオンデマンド授業が1回以上開講されます。

(2) 場所

埼玉大学経済学部 さいたま市桜区下大久保255

事務担当窓口：経済学部係【TEL：048-858-3286、Mail：eco-sodan@gr.saitama-u.ac.jp】



2 受講料等

(1) 受講料 1科目9,800円（振込手数料別途）

(2) その他 教科書等の教材を自己負担によりご用意いただきます。

3 受講の申込

(1) 申込期限 令和8年8月30日(日)

(2) 申込先・方法

下記のURLまたはQRコードから申込フォームへアクセスし、お申込みください。ご不明点等ございましたら、事務担当窓口までお問合せください。

<https://forms.office.com/r/a87hKcUGY3>



(3) 選抜方法

定員を超える申込があった場合は、抽選により受講者を決定します。
(受講の可否については、申込者全員にお知らせします。)

(4) その他

お申込み後に、都合により受講できなくなった場合は早めにご連絡ください。ただし、一旦納入された受講料につきましては、原則、お返しすることはできませんので、あらかじめご了承ください。

オンラインで受講いただく必要が生じた場合、大学ではなくご自宅等においてパソコン等の端末を利用し、授業を受けていただく形となります。そのため、パソコンやタブレット等、インターネットに接続できる端末・インターネット通信環境がない場合は、受講できなくなる場合がございます。この点につきましてもご確認の上、お申込みくださいますようお願いいたします。

4 授業科目の概要及び担当教員

環境経済学 (有賀 健高)	【授業での目標】本講義では、環境問題を理解し、様々な環境問題の解決に有効な経済政策を考案する際に役立つ基礎知識を身につけることをめざします。講義ではまず、環境経済学の基礎理論や基礎概念(独占、公共財の存在、外部性といった市場の失敗に関わる環境問題、ある事業の環境への負荷と便益を比較することでその事業を実行すべきかの判断の際に使われる費用便益分析や環境評価など)と資源経済学の分野で使われている基本的な経済学のモデルについて学びます。そして、講義で学んだ基礎理論や基礎概念を基に、温暖化、大気汚染、自然資源の破壊といった地球規模の環境問題に対処するために、実際にどういった政策が行われているのかについて学びます。最終的に、様々な環境問題に対処するための政策を自分で考案できるような力を身につけることを目的としています。 【授業の実施方法】初回の講義で、発表するグループを決め、2回目以降は、毎回担当者各講義の教科書部分の内容に関連するテーマについて発表してもらい、それについて議論します。
--------------------------	--